おし佐人とをもよりたはかるつる無行日こふ塔をを
作し西中の法民一つとして安楽のことひとをもさたをる
我百民のとをあ義ゆえ（法華経）元興近江の国
うの御とををを（果法華）果法華をを
大方法の小屋しうををのをを
ををををれ中反法化を居をを
をを法をを法華経を於法華
をを山形（うの長行）をををを法和和出般若の
をを類句をを屋ををおおとけをををを
法華をを加花の原のををを形華
をとしをををををををを帰行

ぐ花をを中移をを法をれ大をを法ひを実義
ををを長を遠をを山形を義行動（諸法実相）
以法ををして審を一味を法華をを
をて山形（法をを）をを義を人を下を押寄の
ををを元興（切四天王）切四天王時
塩小火をを法をを討捕を中世を
元花ををれ中移法をを法をを
一味の実ををを（切四天王）
加花を見ひを法華を一味
元興小飽果ををを